

(ア)学校体育研修講座

(◎実技主任講師 ☆座学講師)

※受講率＝受講数÷定員×100

講座名 (日数)	期 日	場 所	受講対象/定員				
長野県高等学校登山研修会 (2日)	5月16日(土) ～17日(日)	センター 針ノ木雪溪	高校山岳部員と顧問 15名				
【高等学校の山岳部の生徒及び指導者が、雪上歩行とロープワークおよび幕営など生活技術の基礎を身につける。】							
申込数	受講数	男(顧問)	女	県内	県外	受講率	◎ 今滝 郁夫 傘木 靖 古幡 和敬
7	7	7	0	7	0	47%	
2年目ということもあって、参加者が少ない中で充実した研修会となった。 1日目は、開講式の後扇沢から入山し雪上歩行、テント設営、滑落停止などの実技を行った。 2日目は、ロープを使った確保技術の訓練を行った。							
講座名 (日数)	期 日	場 所	受講対象/定員				
集団登山引率者研修会 (2日)	6月19日(金) ～20日(土)	センター 猿ヶ城	長野県学校教職員 市町村担当者 30名				
【集団登山に必要な知識や技術を、実際の登山を通して身につけるとともに、生徒の意欲の問題や身体に関する不安を研究協議によって解消する。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎ 中川 恵市 傘木 靖 古幡 和敬
19	18	12	6	18	0	60%	
1日目は中川講師より、「山の魅力と危険」の講義を行った後、安全確保技術の実技と中学校集団登山の課題と指導の方策について研究協議を行った。引き続き古幡講師より救急法の講義を行った。 2日目は、猿ヶ城登山をしながら歩き方、休憩の仕方からツエルトの使い方、搬送などについての実技を行った。							
講座名 (日数)	期 日	場 所	受講対象/定員				
小・中学生のためのクライミング 教室 (1日)	8月2日(日)	センター人工岩場	小中学生の初心者及びその保護者 20名				
【人工壁のクライミング体験を通して、安全な岩登りの基礎的な知識や技術を身につけ、山や岩を登る楽しさを味わう。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	
45	中止	0	0	0	0	0%	
天候の悪化が予想されたために、前日講座を中止した。							
講座名 (日数)	期 日	場 所	受講対象/定員				
高校生クライミング研修会 (2日)	10月24日(土) ～25日(日)	センター センター人工岩場	高校生山岳部員、顧問 一般高校生、 25名				

【長野県の高校生(山岳部以外の生徒でも一般参加可)・教員を対象に、フリークライミング技術および顧問の指導力向上をはかる。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎ 堀江 謙一 古倉 康雄 中嶋 岳志 栗原 久 傘木 靖 古幡 和敬
30	29	25	4	29	0	116%	

1日目は、傘木主事より「クライミングの基礎知識」について講義を行った後、センターの人工岩場へ移動し、内壁と外壁を使って初心者はトプロープによるクライミング、経験者はリードクライミングの練習をした。この日の締めくくりに、主任講師より「クライミングのムーブと練習方法」についての講義を行った。
2日目は、すでに登ったルートに力を抜いて登る、テープで支持されたルートに登る、リードクライミング、オンサイト練習を行った後、トプロープによる学校対抗コンペを行った。

(イ)学校体育・生涯スポーツ共通研修講座

(◎実技主任講師 ☆座学講師)

※受講率＝受講数÷定員×100

講座名 (日数)	期 日	場 所	受講対象/定員
登山の基礎講座1(座学) (2日) 「登山の医学、自然保護、遭難事例、読図」	7月4日(土) ～5日(日)	センター	リーダーコース生 一般・初心者 40名

【登山における体のはたらきと病気やけがの手当、自然保護、遭難事例から学ぶこと、地図の読み取りについて学習し、安全で有意義な登山を行うための基礎的な知識や技能を獲得する。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	☆ 飯田 泰人 ☆ 平出 剛 ☆ 宮本 義彦 ☆ 浮須 由実 傘木 靖 ☆ 古幡 和敬
42	42	32	10	27	15	105%	

1日目は、古幡講師による「登山の救急法」、平出講師による「遭難事例から学ぶこと」、飯田講師による「登山の生理学、登山中の危険な症状と対処」に関する講義を行った。
2日目は、浮須講師による「地図の読みの基本」について講義を行った後、屋外に出て「地図とコンパスによる現在位置の確認」の実習を行った。その後、宮本講師による「エベレスト環境トレッキング隊報告」を行った。

講座名 (日数)	期 日	場 所	受講対象/定員
登山の基礎講座2(座学) (2日) 「冬山の登山計画、装備、食料、天気図の読み取り」	12月5日(土) ～6日(日)	センター	リーダーコース生 一般・夏山登山経験者 40名

【冬山の登山計画の立て方や登山に必要な装備と食料について学ぶとともに、天気図の読み取りについて知識を深めることによって、安全で有意義な冬山登山を行うための基礎的な力を身につける。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	☆ 城所 郁夫 ☆ 榛葉 伸男 傘木 靖 古幡 和敬
46	46	34	12	27	19	115%	

1日目は榛葉講師より「冬山登山の計画の立て方」、「冬山登山に必要な装備、食料計画」について講義し、「ビバーク、ロープワークおよびビーコン訓練」の実習を行った。
2日目は城所講師より「天気図の読み取りの基礎」、「高層天気図と冬山の天気」についての講義を行った。

講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
岩登りとスポーツクライミング (2日)		11月7日(土) ～8日(日)		センター センター人工岩場 物見の岩		一般・初心者 25名	
【岩登りの基礎的な知識や技術を学んだり、体験したりすることにより、安全確保についての考え方を身につけるとともに登る楽しさを味わう。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎ 森山 議雄 浅井 和英 石川みのり 傘木 靖 古幡和敬
50	27	17	10	20	7	108%	
1日目は、人工岩場においてロープワーク、基本の登り方、確保、トップロープクライミングの訓練を行った後、グループ毎各壁面を登ることと懸垂下降訓練を行った。その後、傘木主事よりクライミングの基礎知識、歴史、安全確保技術、(自然の岩場でのクライミング)について講義を行った。また、森山講師より「クライミングのムーブ」についての講義と実技訓練を行った。 2日目は、物見の岩へ行き、支点作りと懸垂下降、セカンドでのクライミングを行った。							

(ウ)生涯スポーツ共通研修講座

(◎実技主任講師 ☆座学講師)

※受講率＝受講数÷定員×100

講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
山で役立つ救急法 (3日) (リーダーコースのみの講座)		4月17日(金) ～19日(日)		センター		リーダーコース生/26名 (日赤救急員資格のある方を除く)	
【平成21年度リーダーコースの開講にあたってオリエンテーションを受け、1年間の心構えを持つとともに、山で役立つ救急法(登山活動中の病気やけがに対して、必要な救急処置の方法を学び、日赤救急員資格を取得する。)を学ぶ。							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	傘木 靖 ◎ 古幡 和敬
29	21	17	4	12	9	81%	
古幡講師が、配布した教本、実際の山での遭難事例、平地で見聞した事例等を出しながら講義と実技指導を行った。 3日目には実技と筆記の試験を行い、全員日赤救急員資格を取得できた。							
講座名 (日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
雪上技術講習会1 (3日) 「ピッケル・アイゼンとロープによる確保技術」		5月15日(金) ～17日(日)		センター 針ノ木雪渓		リーダーコース生 一般・雪山初心者(60歳以下) 35名	
【残雪期登山に必要な、アイゼンやピッケルの使い方やロープによる確保技術を学んだり、雪上での幕営生活技術を身につけることを通して、春の雪山を知り楽しむ。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎ 山田 正充 村田 健治 榛葉 伸男 中村 和義 栗原 久 傘木 靖 古幡 和敬
37	31	25	6	19	12	89%	

主任講師より、「残雪期の登山の特徴と魅力、秘められた危険性、登山を安全に楽しむために必要な知識・技術・装備」等について教本を使って講義を行った。
 2日目は針ノ木雪渓に入り大沢小屋周辺にテントを設営後大沢で雪上歩行の訓練を行った。
 3日目は総合的な雪上技術についてロープを使っての訓練を行った。

講座名(日数)	期 日	場 所	受講対象/定員
雪上技術講習会2(2日) (リーダーコースのみの講座)	5月30日(土) ～31日 (日)	センター 針ノ木雪渓	リーダーコース生 26名

【雪上技術の確認をするとともに応用力を養う。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎村田 健治 高橋 政男 栗原 久 傘木 靖 古幡 和敬
26	20	17	3	12	8	77%	

1日目は、扇沢駅前に集合し、針ノ木雪渓に入山後、雪上技術講習会1の実技の復習(雪上歩行技術、滑落停止技術)を行った。その後、大沢小屋周辺にてビバークの訓練を行った。
 2日目は、針ノ木雪渓でロープワークの訓練を行った。

講座名(日数)	期 日	場 所	受講対象/定員
初めての山登り(3日)	6月26日(土) ～28日 (日)	センター 爺ヶ岳	一般・初心者(65歳以下) 25名

【登山を始めようとする者が、夏山期登山に必要な計画の立案、装備や食料の準備、登山道の歩き方、休憩の取り方、山小屋での過ごし方等基礎的な登山技術を学び実践しながら初夏の山を楽しむ。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎杉田 浩康 傘木 靖 古幡 和敬
20	16	10	6	11	5	64%	

1日目はセンターにて杉田講師より「夏山登山の基礎」について講義をした後、班毎に登山計画書の作成と地図の見方、装備点検等の実技を行った。
 2日目は、タクシーで扇沢に移動し、班毎に柏原新道から歩き方、休み方、地図による現在位置の確認、フィックスロープの通過などを研修しながら爺ヶ岳に登頂し種池山荘に宿泊した。
 3日目は、柏原新道より下山しセンターにて片付けをして解散した。

講座名(日数)	期 日	場 所	受講対象/定員
夏山登山の危急時対策1 (3日) (リーダーコースのみの講座)	7月18日(土) ～20(月)	センター 七倉沢	リーダーコース生 26名

【夏山における支点の作り方、確保、危険箇所の通過、ビバーク方法等をみにつける。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎村田 健治 落合嘉宏 榛葉伸男 栗原 久 傘木 靖 古幡和敬
26	26	19	7	15	11	100%	

1日目は、村田講師による「確保理論」の講義を行った後、人工岩場にて懸垂下降訓練およびタイヤ落としによる確保訓練を行った。
 2日目は、七倉沢に入山し、班毎に支点の構築や確保の訓練を行った後ビバークした。
 3日目は、確保訓練、懸垂下降訓練、渡渉等を繰り返し行った。

講座名(日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
夏山登山の危急時対策2 (2日) (リーダーコースのみの講座)		9月5日(土) ~6日(日)		七倉沢		リーダーコース生 26名	
【夏山における危険箇所の通過、ビバーク、負傷者の搬出方法等を身につける。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎村田健治 榛葉伸男 杉田浩康 栗原 久 傘木 靖 古幡和敬
22	22	17	5	13	9	85%	
1日目は、七倉駐車場に集合し、七倉沢に入山。最終堰堤の上部河原をビバーク地として荷物をデポし、周辺の岩場で支点構築や岩場の通過、渡渉、懸垂下降の訓練を行った。 2日目は、背負い搬送、索道による搬送、担架、柴ぞりなどによる搬送の訓練を行った。							
講座名(日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
冬山講習会(4日) 「雪山の歩行と雪洞の作り方」		2月11日(木) ~14(日)		センター 黒沢尾根		リーダーコース生 一般・夏山登山経験者(60歳以下) 35名	
【雪山での歩行や、幕営・雪洞作りなど冬山の基礎的な生活技術を学んだり、冬の自然に触れたりすることにより雪山への理解を深める。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎村田健治 杉田浩康 大西 浩 榛葉伸男 中村和義 栗原 久 傘木 靖 古幡和敬
39	31	24	7	18	13	89%	
1日目は村田講師より冬山登山の基礎について講義を行った後、班毎食料計画を立案し買い出し、パッキング等を行った。 2日目は鹿島槍スキー場へ移動し、リフト2本乗り継いだ後、班毎雪質観察、安全なルート設定を行いながら行動し、幕営した。 3日目は地図を見ながらの行動、ロープワーク、雪崩埋没者の探索訓練後、雪洞を造った(リーダーコースはビバーク雪洞)。 4日目はルート設定、雪質の観察を行いながら下山した。							
講座名(日数)		期 日		場 所		受講対象/定員	
リーダーコース修了研修(2日) (リーダーコース生のみの講座)		3月6日(土) ~7日(日)		センター 仏崎の岩場		リーダーコース生 26名	
【本年度リーダーコースの全課程を修了する受講生に、リーダーとしてのリーダーとしての自覚と責任を喚起するとともに、登山技術の確認とまとめの会を行う。】							
申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎村田 健治 榛葉伸男 中村 和義 栗原 久 傘木 靖 古幡 和敬
23	23	18	5	13	10	88%	

1日目は、村田講師より「リーダーの責任と自覚」の講義を行った後、人工岩場にて「救急法、支点の構築、確保技術等の確認」について実技訓練を行った。さらに「リーダーコースを終えて」の作文を書き、最後に1年間リーダーコースを受講しての疑問点や個人の課題を出し合い話し合った。
2日目は、仏崎の岩場周辺で「確保技術、懸垂下降技術、搬送技術等の確認」を行いながらの総合登攀訓練を行った。訓練終了後センターに戻り、修了式をして1年間を締めくくった。

講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員
講師講習会1(夏山)(2日)	8月29日(土) ～30日(日)	七倉沢	センター研修講座講師 山岳会指導者・山岳関係者 30名

【無雪期における危急時対策訓練により、これからの山行をより安全なものとする。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎ 大西 浩 高橋 政男 傘木 靖 古幡 和敬
32	29	27	2	23	6	97%	

1日目は七倉駐車場にて開講式を行い、七倉沢に入山後、堰堤上流で確実な支点作り、危険箇所の通過、ビバーク等の訓練を行った。
2日目は、前日に引き続き、けが人を想定して、応急処置、松葉杖、背負い搬送等の訓練を行った。

講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員
講師講習会2(登山案内人)(2日)	9月16日(水) ～17日(木)	センター 仏崎の岩場 七倉沢の岩場	登山案内人研修(実技)の講師 20名

【信州登山案内人能力向上研修(実技)で講師を務めるため、登山案内人に必要な安全確保技術について共通認識を深める。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎ 村田 健治 傘木 靖 古幡 和敬
7	6	5	1	6	0	30%	

1日目は、村田講師より「確保理論」の講義の後、仏崎の岩場に移動して確実な支点作りと場に応じた確保の実習を行った。さらにセンターに戻り、転滑落を防ぐ方策について研究協議を行った。
2日目は七倉沢の岩場にて、「危険箇所の通過」、「懸垂下降」、「救急法と搬送」についての実技訓練を行った。

講座名(日数)	期日	場所	受講対象/定員
講師講習会3(冬山)(2日)	1月30日(土) ～31日(日)	黒沢尾根 センター	センター研修講座講師 山岳会指導者・山岳関係者 30名

【講師としてまたは山岳関係のリーダーとして、雪質観察や雪崩埋没者の捜索救出訓練・搬送訓練をどう展開したらよいか検討することを通して、講師としての資質を高める。】

申込数	受講数	男	女	県内	県外	受講率	◎ 東 秀訓 傘木 靖
55	43	36	7	36	7	143%	

1日目は、鹿島槍スキー場から黒沢尾根にとりつき、6班に分かれて雪質の観察、弱層テスト等を行った。その後センターへ戻り、東講師より雪崩についての講義を行った後、夕食後さらに雪崩埋没者捜索訓練のやり方について班毎に協議した。
2日目は、雪崩埋没者捜索訓練、搬送訓練などを行い検討を加えた。